

国連経験から新しい世界へ

-- 国際原子力機関 (IAEA) での勤務経験から --



日本物理学会
キャリア支援センター

2009.3.27

日本原子力産業協会
(IAEAリクルートローカルカウンセラー)

小西俊雄

t-konishi@jaif.or.jp

March 2009



国際社会で仕事してみよう

1. 私の歩いて来た道と国連勤務の勧め
2. 主な国際機関URL <http://.....>
3. 国際原子力機関(IAEA)について
4. 原産協会HP「国連機関応募の勧め」

1. 私の歩いて来た道と 国連勤務の勧め



- 修士卒で民間製造会社に就職
- 研究開発段階の原子炉開発に従事
- 研究所、事業団、エンジニアリング会社に出向
- 50代前半に国際機関 (IAEA) 転籍、定年まで
- 原産嘱託、内閣府技術参与、大学院特講、各種講義・講演・寄稿、WNU夏季研修メンター

参考:あなたがこんな人なら(個人として)

1. 異文化圏(例えばアラブ、アフリカ等)へ抵抗感なしに公務出張できるか？
2. 海外勤務5年(または7年)として、その後の生活設計を持っているか？
3. 健康管理は自分でできるか？
4. 一週間酒抜きで過ごせるか？
5. 喫煙マナーを守れるか？
6. **照れずにレディファーストが実行できるか？**

あなたがこんな人なら(仕事面で)

1. 自分の分野での日本の現状(政策、技術動向、業界動向など)に通じているか？
2. 独立心はあるか？(独立心とは、仕事の上で自ら状況を分析し、問題を定義して、解決策を立案できるか？)
3. プロマネ経験はあるか？(大はプラントから小は受託研究、要は複数の人間、複数の技術分野の仕事をコーディネートした経験はあるか？)
4. リーダとして他国の人(先進国も途上国も)に指示、要請、交渉の自信はあるか？
5. **専攻領域以外の周辺技術分野を耳学問でも勉強する気はあるか？あるいは好奇心はあるか？(「T定規観」)**

あなたがこんな人なら(英語力面で)

1. 英語での発表(仕事、趣味やニュース)に自信あるか？
- 2. 英語での会議取し切り(司会)の経験、自信はあるか？**
3. 自分の仕事を英語で説明できるか(内容、役割、問題認識など)？
4. 趣味(英語で説明できる日本的な趣味)はあるか？
5. 日本の地理、歴史、文化について英語で説明できるか？

(参考:私の場合)

英検1級、運輸省観光ガイド、通訳士、英国RSA(外国人英語)最上級、国連英検

職域拡大のポテンシャル(国内外)

1. 人脈(国内外)、情報脈
2. 世界(各国)ニーズ体感、将来職域への道
3. 国連他機関への異動、モビリティー社会
4. 日本社会での職域拡大
5. 海外からのリクルート



2. 主な国際機関URL <http://.....>

国連システム: www.unsystem.org/

(IAEA, FAO, WMO, WHO, ICTP, ...)

CTBTO: pws.ctbto.org/, 軍縮・不拡散促進センター: www.cpdnp.jp/

国際機関人事センター: www.mofa-irc.go.jp/

OECD/NEA: www.nea.fr/

ITER: www.iter.org/a/index_jobs.htm



国連機関は多岐にわたる。各国連機関には自然科学に限らず経済、法律、情報、文化等幅広い職域が存在する。原子力関係者でなくても、理科系、文科系を問わず各機関のHPからそれぞれの空席情報にアクセスすると良い。

全般については国連システムの下記公式サイトからそれぞれの機関の概要や空席情報にアクセス可能である。

<http://www.unsystem.org/>

国連機関の人事 (IAEAの例)

- 原則公募、特に専門職、上級職
- 専門職 (Professional) はP1からP5 (課長級) まで
- P1は研修員、P3実行、P4&P5が計画実行の中堅
- IAEAは有期契約 (3年から更新で最長7年まで)、他の機関は原則期限なし
- 予想空席年間約150、応募者約100-150人/件

IAEAの要求の経験年数ガイドライン

- » P5: 博士号+11年、修士号+(13~17)年
- » P4: 博士号+6年、修士号+(8~12)年
- » P3: 博士号+3年、修士号+(5~8)年
- ✓ Pは専門職(P1-P5)、他に管理職D、一般職G



International Centre for Theoretical Physics

(<http://www.ictp.it/>)

- イタリア政府、IAEA、UNESCO(運営)
- 物理・数学の学習と研究(途上国支援)
- 3本柱: 高エネルギー物理、数学、凝縮系物理学
- 固体物理、原子分子物理、エネルギーシステム、核物理、Fission、プラズマ物理、核融合、医学物理、シンクロ放射線、気象物理、地球物理など

JPO (AE、APO) 派遣制度

(国際機関人事センター: www.mofa-irc.go.jp/)

- 将来正規職員可能性の高い若手
- 2年、P2待遇
- 派遣先機関: UNDP, UNDCP, IAEA, FAO, UNIDO, WHO, -----)
- 経験を活かして正規に応募

3. 国際原子力機関 (IAEA) について

設立：1957年（「Atoms for Peace」演説を受けて）

憲章の要点：平和利用推進と安全の担保（2条、3条）

活動内容：

- 関連情報の収集、配信、共有化
- 経験、教訓の共有、技術移転の支援
- 安全担保のための規制ガイダンス
- 保障措置（査察によるVerification）
- その他関連する事項



IAEAの使命(三本の柱)

<http://www.iaea.org/>

- 安全とセキュリティ向上
- 平和利用推進
- 核拡散防止: 保障措置と
検認 (Verification)

→ **ノーベル平和賞(2005)**

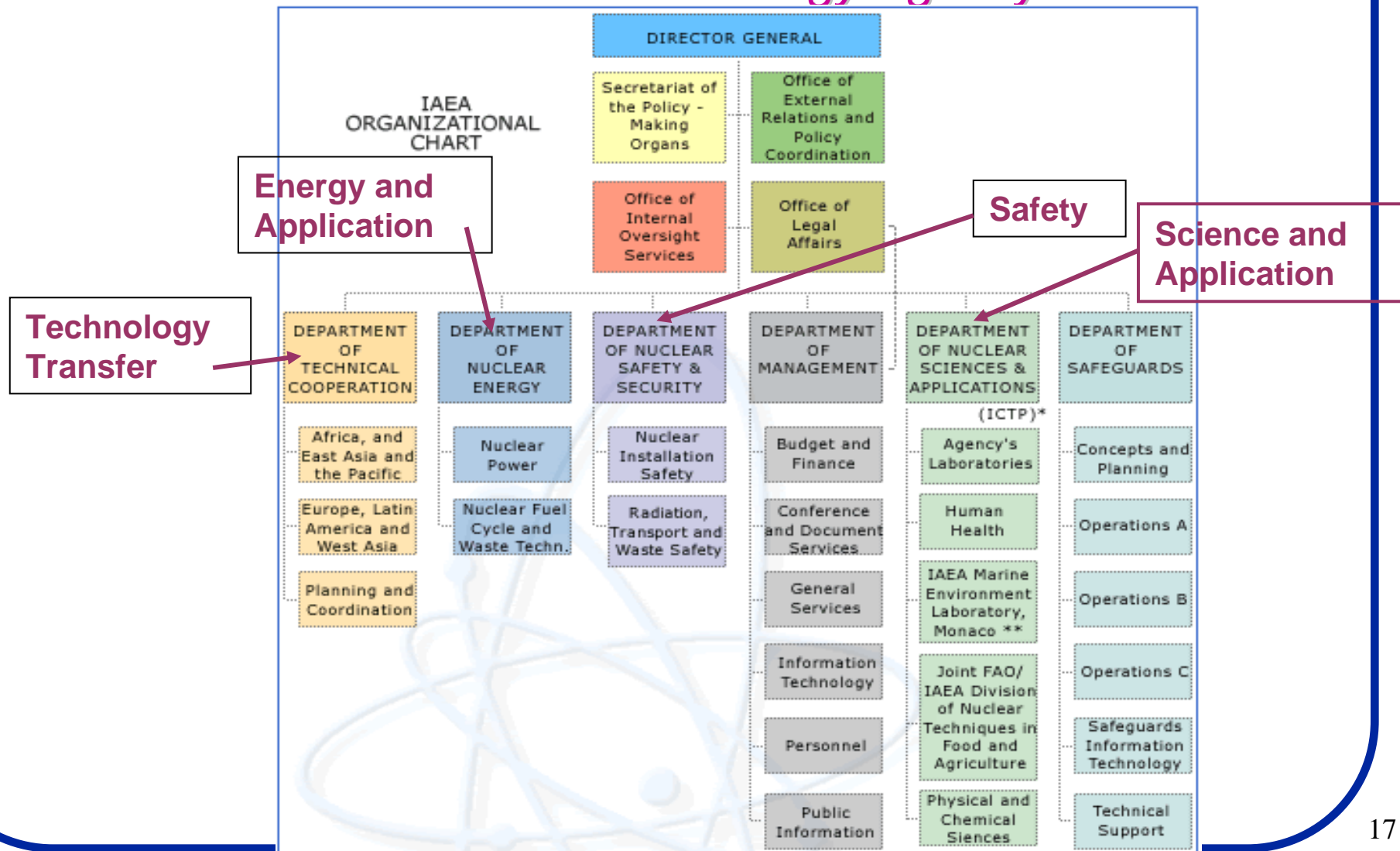


(1) IAEAの組織と規模

- 加盟国144(2007/3現在)
- 6部局(技術系5部局と管理部局)
- 年間通常予算約320M\$、日本の負担約20%
- 他に技術協力用寄金約80M\$等特別拠出金
- 職員数約2300(内通常予算枠約1600)
- 専門職約900(内地理的配分約800)
 - 管理層: DG、DDG、D
 - 計画立案、実行部隊: P5、P4
 - 実行部隊: P3、P2、P1



International Atomic Energy Agency



組織（詳細はIAEA、原産HP参照）

DG (Elbaradei)-DGO: 政策、法制、渉外

- 保障措置局 (SG): 査察、同関連技術、不拡散
- 管理局 (MT): 情報技術、広報、財務・人事
- 科学・応用局 (NA): 核医学、放射線、RI、核融合、分析
- 原子エネルギー局 (NE): 開発、運転保守、燃料・ラド
- 安全・セキュリティ局 (NS、谷口): 規制、基準規格、テロ対策
- 技術協力局 (TC): 技術移転、教育訓練

(2) 主な活動内容(部局紹介)

D of Safeguards (保障措置局)

- 概念・計画部
- 査察実施部
 - A: 極東、Australia
 - B: 北米、中南米、アフリカ、アラブ、インド、パキスタン
 - C(村上): EU、東欧圏、旧ソ連
- 保障措置技術支援部
- 保障措置情報技術部

関連部署としてSeibersdorf研究所にNA/分析研究室(久野)

D of Nuclear Science and Applications ***(科学・応用局 www-naweb.iaea.org/na/)***

- **物理・化学部** (www-naweb.iaea.org/napc/)
 - **核科学、水資源、放射性同位元素と放射線**
 - **調整研究CRP、技術協力TC、エネルギー局NEと連携**
- **健康部**
- **食料・農業における放射線技術(FAOとの共同事業)**
- **サイバースドルフ研究所**
- **モナコ海洋環境研究所**

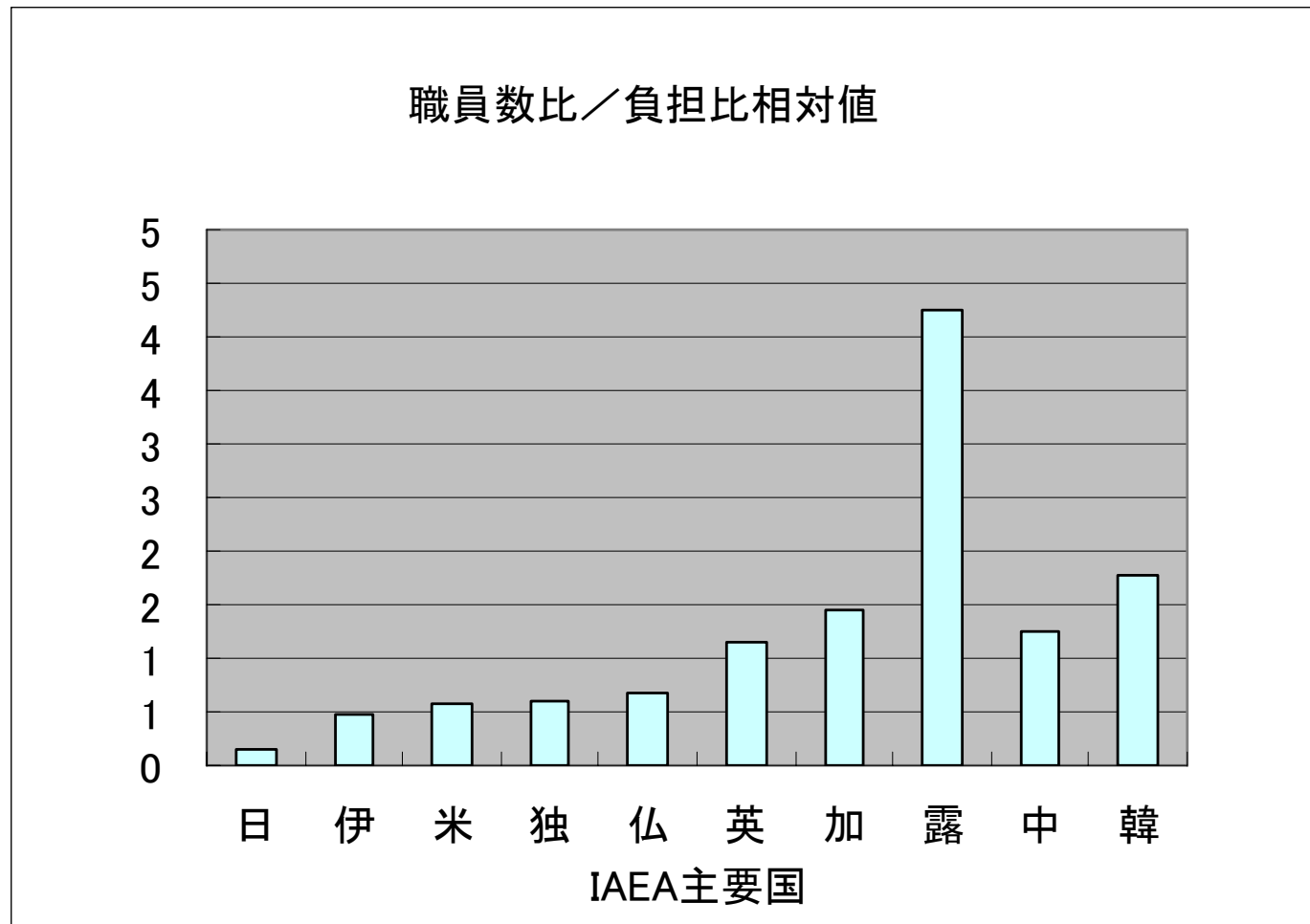
D of Nuclear Energy (エネルギー局)

- **原子力発電部 (NENP、尾本)** 「→ **原子力海水淡水化**
 - 原子力技術開発課 (新型炉開発、熱利用等)
 - 原子力エンジニアリング課 (建設、運転保守、QA、延命、デコミ等)
- **燃料サイクル・廃棄物部 (NEFW)**
 - 燃料サイクルおよび材料課
 - 廃棄物技術課
- **エネルギー計画・経済性評価グループ (PESS)**
- **革新型核燃サイクルプロジェクト (INPRO) 取りまとめ**
- **原子力技術情報システムグループ (NKM&INIS、花光)**

(3) 邦人職員の実情

- 技術立国日本の技術貢献、人的貢献：ニーズとシーズ
- 予算分担割合と職員割合の乖離
- 日本原子力産業の実績とポテンシアルへの期待
- 国連側の増強期待
 - アンダーレプの国
 - 女性
 - 開発途上国

IAEA主要国の「職員数割合/予算負担割合」 (2002. 1現在)



IAEAの邦人専門職員：実情と問題

- 総数42、通常予算内27(2008.5現在)
- DDG(1/6)、D(2/36)、P5(3/173)、P4(10/254)、P3(11/255)、P2(-/29)、P1(-/2)
- 絶対数の少なさ、**計画実行部隊**の少なさ
 - » 活動方針作り、基準・ガイダンスへの日本カルチャー反映に難
 - » 日本技術への理解、開発途上国への技術広報に遅れ
 - » 活動計画立案、日本の望む目標アウトプット作り参画に遅れ
 - » 規制や基準の方向性に関する先行情報入手に遅れ

職員を送る意味

- » 活動計画立案、日本の望む目標アウトプット作り参画
- » 基準・ガイダンス類への日本カルチャー反映
(より緩く、あるいはより厳しく)
- » 途上国(potential market)への技術輸出土壌醸成
- » 途上国ニーズ把握、インフラ支援、日本技術の広報
- » 技術協力(TC)の仕組みを活用しての技術輸出
- » 規制や基準の方向性に関する先行情報入手

(4) 公募中の空席例(2009/021、P4)

http://recruitment.iaea.org/vacancies/p/2009/2009_021.html

- 原子エネルギー局原子力発電部、応募期限4月20日
- 原子燃料サイクルの動向調査、関連データベース管理
- 課内IT環境整備運営、他課員サポート

- 技術会議、ワークショップ企画運営

- 報酬：年俸約US\$93,600＋各種手当て(全額手取り)
- 当初契約3年、ただし「延長」余地は大きい

IAEA 公募空席案内 (Vacancy Notice)

http://recruitment.iaea.org/vacancies/p/2009/2009_021.htm

 **IAEA**
International Atomic Energy Agency

Vacancy Notice No. 2009/021

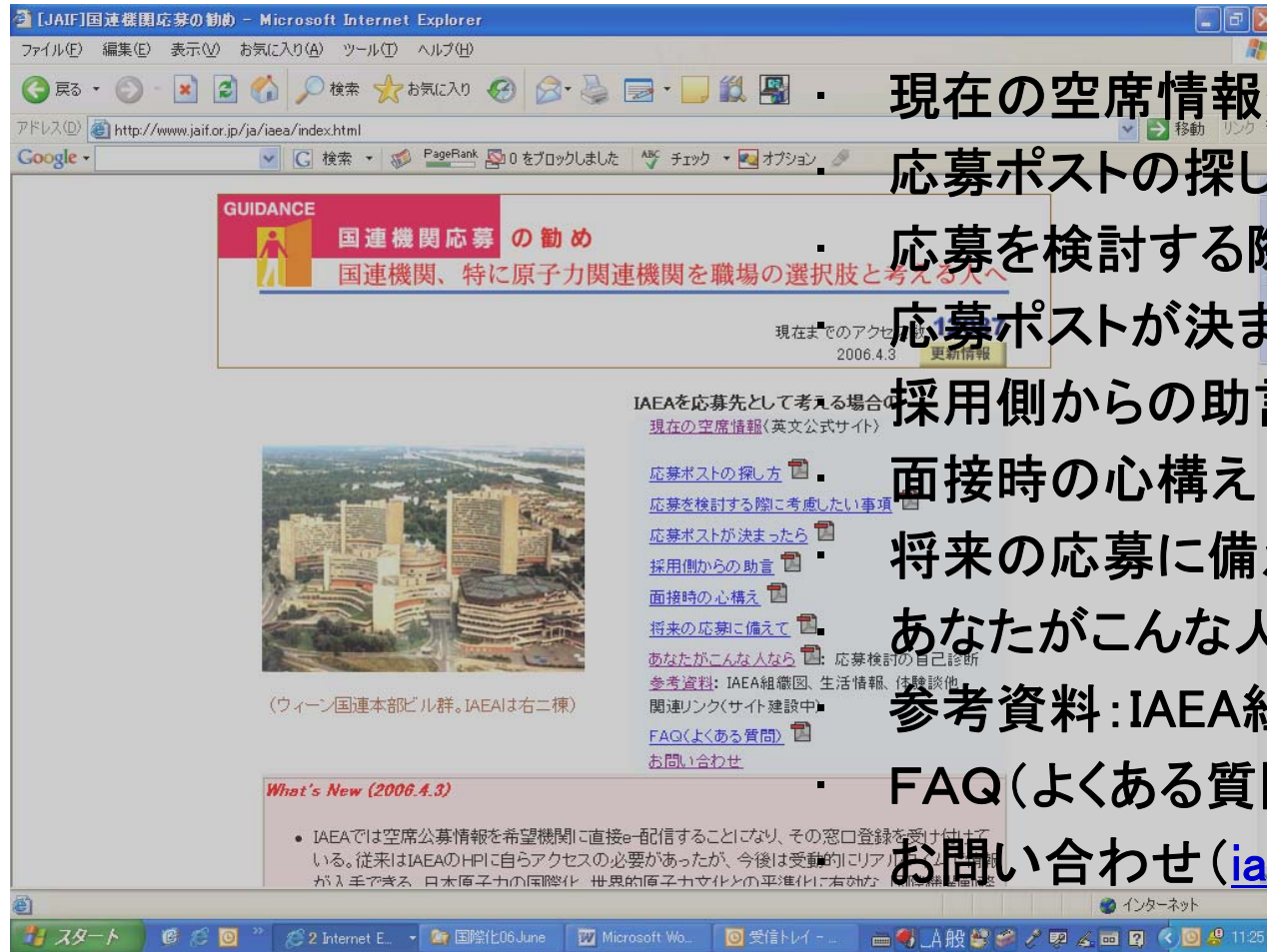
Position and Grade:	Nuclear Technology Specialist (P-4)
Organizational Unit:	Nuclear Fuel Cycle and Materials Section <u>Division of Nuclear Fuel Cycle and Waste Technology</u> <u>Department of Nuclear Energy</u>
Duty Station:	<u>Vienna, Austria</u>
Issue Date:	12 March 2009
Application Deadline:	20 April 2009
Type/Duration of Appointment:	<u>Fixed term</u> , 3 years (subject to a probationary period of 1 year)

Organizational Setting

The Nuclear Fuel Cycle and Materials Section facilitates interested Member States in the development of nuclear energy systems that are safe, environment-friendly, economically viable, proliferation-resistant and sustainable.

原産協会HP「国連機関応募の勧め」

home>国際協力>国際機関・多国間協力> <http://www.jaif.or.jp/ja/iaea/>



現在の空席情報<英文公式サイト>

応募ポスの探し方

応募を検討する際に考慮したい事項

応募ポスが決まったら

採用側からの助言

面接時の心構え

将来の応募に備えて

あなたがこんな人なら:適性自己診断

参考資料:IAEA組織図、体験談他

FAQ(よくある質問)

お問い合わせ (iaea-recruit@jaif.or.jp)

職場としてのIAEA, 職場環境

- 多国文化、だから面白い。
- 技術力、管理能力は十分。英語力さえあれば。
- 英語だけでOK。日本人は非英語国民の10指に入る。
- 「話」は楽、「書」が骨、「読」は頑張り。目安TOEIC850?
- 税法特典、各種手当て、年金等も。
- 生活の質はあがる(時間、自然、芸術、人間)。
- 当初3年、一般に5年。努力で7年。定年62。
 - 50代:片道切符で経験生かす。P5以上、課長、部長職。
 - 40代:帰国後職場のビジネスに経験、人脈生かす。中堅。
 - 30代:教育重視。国際市場感覚、人脈構築。二度目にキーポスト。

職場としてのIAEA, 応募の勧め

- 技術系部局: 設計開発、応用、安全、保障措置
- 設計開発とエンジニアリング (NE): 現行プラントの改良、管理、寿命延長、QA、運転、保守、新型炉、転換、熱利用
- 安全とセキュリテイ (NS): 規準、立地、運転レビュー
- 放射線応用と核融合 (NA): 照射、アイソトープ利用、核融合

ご清聴ありがとうございました。

個別相談は原産協会まで(t-konishi@jaif.or.jp)

小西俊雄